

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (四国)	良くなる	-	-
	やや良くなる	商店街（代表者）	・安定した政権による経済運営の持続を期待し、当面はこの動きに注目したい。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	・アベノミクスがうまくいき、参議院選挙までは景気が良くなるのではないかと。しかしながら、消費税増税で、来年の今ごろはどうなっているかすごく不安である。
		百貨店（営業担当）	・客の消費が活性化し、景気は良くなると思う。今後の国の動きに注目している。
		コンビニ（店長）	・現業系の客の来店が増加しており、好循環が始まると考えている。
		家電量販店（店員）	・新生活準備需要で来客数・購入金額共に増加が見込めるため、やや良くなると予想する。
		乗用車販売店（従業員）	・エコカー補助金や新型車発売があった前年と比べて、売上は4割程度落ちているが、決算期（3月）に向けて、受注が良くなっている。
		乗用車販売店（従業員）	・消費税増税に関して何らかの減税措置が講じられそうであること、また、しばらく円安傾向が続くと自動車業界は潤うと思うため、やや良くなると予想する。
		住関連専門店（経営者）	・政権が代わり、円安に振れ、株価が上昇している状況にあるため、少し先が明るい感じがする。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・これから暖かくなると、少しずつ売上も上昇して良くなると思う。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・引き続き、わずかながら売上増を見込んでおり、やや良くなると予想する。
		通信会社（企画）	・顧客動向からみて、少しではあるが高額商品への関心が増えているように思われる。
		競艇場（職員）	・いい流れで年明けを迎えられた。地元選手の活躍を期待し、一層の集客努力に努める。
		美容室（経営者）	・今より悪くなるとつぶれてしまう。
	設計事務所（所長）	・建設関係の人員費が値上がりをはじめているため、やや良くなると予想する。	
	設計事務所（職員）	・大型補正予算が決定し、事業主体である行政機関が執行に向けて準備を進めていることから、やや良くなると予想する。	
	変わらない	商店街（代表者）	・春先に向けて、商店街内の空き店舗に開店計画があり、かなり明るい兆しがみえるように思う。行政の中心市街地の計画等も発表され、消費者、また経営者のマインドも前向きになっていくと思う。
		商店街（事務局長）	・今後景気が上向くと予想する人は多く、初売りも好調であった。しかし、依然として消費行動は慎重で、商品やサービスへの選択眼には厳しさが感じられる。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・特に上向いたり落ち込む要因が思い当たらない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・行事やイベントの売上は減っているが、それにこだわらない客が増え、売上が分散している。予約をしてまで商品にこだわって購入する客が減ってきている。予約が少なく、景気が良くなるかは分からない。
		百貨店（総務担当）	・不急・不要商品や高額品の販売数量の鈍化により変わらないと予想する。
		スーパー（店長）	・ゴールデンウィークが近づいてきているが、昨年と違い、期待感もなく、景気が上向いて売上が伸びるとは予想できない。
		スーパー（店長）	・景気好転の要素が見当たらない。新政権による景気対策の効果が現れるのはまだまだ先になると思われる。
		スーパー（人事）	・新政権への期待はあるが、効果が出るには1年はかかる。
		スーパー（財務担当）	・しばらくは前年並みで推移するとみている。株高、円安、春闘で消費マインドがアップすることを期待している。
		コンビニ（総務）	・天候や気温に左右されるが、景気の先行きが不透明のため消費が増えない。
		衣料品専門店（経営者）	・株価が上昇し、雰囲気も少し良くなってきているが、まだ数字には表れていない。
		衣料品専門店（経営者）	・特になし。
		衣料品専門店（総務担当）	・円安とともに株価が上昇している一方で、ガソリンや野菜など様々なものが値上がりしている。所得増加が短期的に期待できない現状では、衣料品に対する購買意欲の上昇は期待できず、景気が上向くことは考えられない。
		家電量販店（店長）	・今の状況から考えると、良くなるとは考えにくい。

	乗用車販売店（従業員）	・ガソリンが値上がりし、燃費の良いハイブリッド車を選ぶ傾向は強くなっているが、販売台数の総数増加には繋がらない。
	乗用車販売店（営業担当）	・市場全体は厳しいが、ダウンサイジングによる新型車の指名買いに助けられている。
	乗用車販売店（役員）	・新車登録は、季節要因もあるので、現在より悪くなるのは仕方ないと思う。当社は新車販売効果もあって、想像したより落ちないと思っているが、自動車業界は、昨年より2割落ち込むと言われている。政府の経済対策に期待しているが、2、3か月先の景気はおそらく悪くなっていると思う。
	その他飲食【ファーストフード】（経営者）	・節約志向が依然続いており、外食を控えるのは当然の成り行きだと思う。
	観光型旅館（経営者）	・2～4月の予約状況は、昨年と比べて良くない状況。景気が上向くという期待感もあり、多少、気分的には変わっていると思うが、まだ旅行のほうは、それほど伸びないのではないかと予想する。旅行消費が伸びるのにはしばらく時間がかかるのではないかと感じがしている。
	都市型ホテル（経営者）	・新政権が打ち出している景気対策に期待感があるが、なかなか実勢が伴っていかないと思う。円安に振れているので、ガス、電気料金が上昇し、景気はやや下向きになるのではないかと予想する。
	旅行代理店（支店長）	・景気対策の効果波及に期待感はあるが、反面、円安による海外旅行の手控え、米航空機メーカーの新型機が運航停止となった問題の長期化が懸念され、先行きが見通せない。
	タクシー運転手	・タクシーチケットの利用が少なくなっている。給料が上昇したという話をする客はほとんどいない。また、新年会等を会社で実施したという話も聞かなかったため、変わらないと予想する。
	通信会社（営業担当）	・年度末は最大の商戦期であるが、携帯電話の早期取得や、若年人口の減少等により大幅な販売増はないと思われる。
	観光名所（職員）	・日経平均株価の上昇や為替相場の影響が出るのは、もう少し先の話になりそうであり、変わらないと予想する。
	ゴルフ場（従業員）	・暖かくなると若干上向くかもしれないが、全体的にみると、今の状態が続くと予想する。
	美容室（経営者）	・景気対策や税制改革などが打ち出されているが、すぐに消費意欲の向上につながると思えない。
	住宅販売会社（従業員）	・新規商談数に変化がないため、成約数は伸びないのではないかと予想する。
	やや悪くなる	
	悪くなる	
	一般小売店【酒】（販売担当）	・政権が代わりニュース等で景気回復と謳っているが、消費者の購買意欲は全然戻らない。まだまだ厳しくなりそうである。
企業 動向 関連 (四国)	良くなる	食料品製造業（商品統括） 電気機械器具製造業（経営者） ・円安の進行を日本も世界も容認すると思われる。景気は人の気持ちによるところが大きく、今後反映される。 ・再生可能エネルギーの買取価格が変わることになると駆け込み需要が予想され、忙しくなると思う。また、消費税増税前に設備の更新等を行いたい会社も多く、メンテナンス等々が大変増えている。
	やや良くなる	繊維工業（経営者） 木材木製品製造業（経営者） 電気機械器具製造業（経理担当） 金融業（融資担当） 不動産業（経営者） 広告代理店（経営者） 公認会計士 ・全体的に消費マインドが上向いていると思われる。 ・円安株高で気分がずいぶん変わってきた。2016年問題を控え、住宅着工数が落ちると予想される。そのため、各メーカーがシェア確保のために奔走しており、価格はデフレ状態になると思う。 ・受注量は、国内は若干増加の傾向。輸出は横ばいだが、為替が円安に振れている影響で収支は改善の方向に進むものと見込んでいる。 ・円安が進行しており、輸出関連企業の造船関連会社では売上及び収益改善が見込まれる。 ・消費税増税の来年実施が見込まれており、このところ駆け込み需要が顕著にみられる。今後も続く可能性がある。 ・現在の調子が続くようであれば、用紙価格が低いことも含めて利益を増やすことができるかもしれない。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者） 建設業（経営者） ・期末に当たる3月には、一定のギフト関係の受注は出てくると思うが、全般的には大きく変わらないと予想する。 ・業界内の動きをみていると、とても2、3か月では変わらない。

		建設業（総務担当）	・円安、株高で景気は回復傾向にあるが、すぐに受注価格に反映されるとは考えられず、当分の間は今の状態が続くものと判断する。
		輸送業（経営者）	・中小企業はまだ不安材料が多い。
		輸送業（支店長）	・燃料単価が上昇傾向でコスト増であるが、業務受注量は年度末に向けて増加しているため、変わらないと予想する。
		通信業（部長）	・円安、株高の傾向ではあるが、景気の先行きの不透明さが払しょくされたわけではなく、法人の携帯電話需要は変わらないと予想する。
		広告代理店（経営者）	・3月ごろに大手流通関係得意先の新規出店等による売上増を見込めるが、消費税増税対策として早くもコスト削減の検討依頼がある。流通関係で消費税増税分を転嫁できない問題が、広告費削減に影響することも予想され、全般としては変わらないか、もしくは厳しい可能性もある。
	やや悪くなる	鉄鋼業（総務部長）	・年初来の円安は将来的な受注増に繋がるが、当社の場合は早くも秋ごろの予想である。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・現在の円安（円高修正）の動きは期待が先行していることによるもので、今後の政策運営次第では反動も大きい。
	悪くなる	輸送業（営業）	・景気低迷による取扱物量の減少は慢性的なもので、一企業による自助努力も限界に近づいている。ここにきて適正運賃を大きく下回った荷主の値下げ要請を受け入れるか否かの選択が、経営の根幹を揺るがす大きな問題となってきた。荷主の値下げ要請を受け入れれば、経営が悪化する事は必至である。
雇用 関連 (四国)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（営業）	・年度末決算に合わせた事務系や、小売商戦に向けたサービス系の人材雇用が発生することから、景気もやや良くなると考える。しかし、季節雇用の要素を含むため、雇用創造への努力が課題とされる。
		人材派遣会社（営業担当）	・円安による企業の投資などにより、国内需要の生産の増加などがあれば、景気回復に変化があると思われる。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・卒業シーズンに伴い求人数の増加が予想されるため、やや良くなると予想する。
		職業安定所（職員）	・月間有効求人倍率は先月と比較して、0.13ポイント上昇している。また、前年同月と比較しても0.16ポイント上昇している。
	変わらない	求人情報誌（営業）	・製造業、特に下請企業において、独自の路線を見つけ出しているところは不況から抜け出しつつあるが、抜け出せていない中小企業も多く、しばらく景気は横ばいと判断する。
		職業安定所（職員）	・新規学卒者の就職時期が間近になり、正社員の求人が大量に発生するなどの情報は入っていない。
		民間職業紹介機関（所長）	・求人数自体は、前年と比較すると横ばいであり、特定の業種を除けば、余剰に人を採用しようとする企業は少ない。次年度の新卒採用に関しても同様で、いまだに採用計画が決まっていない企業も多いように見受けられる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・求人は今後も横ばいで推移すると考えられる。
	やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・公共事業は政府方針で増えるだろうが、お金が回るとはとも思えない。前回の長期の好景気時に、利益は内部留保と株主配当にのみ費やされ、給与に反映されなかったのを皆覚えているから消費が活発にはならないだろう。
	悪くなる	-	-